

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	大垣市			代表者名	市長 石田 仁
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	情報企画課	連絡先電話番号	0584-47-8249
担当者役職	主査	担当者氏名	伊深 万智	連絡先E-mail	
住所	503-8601 岐阜県大垣市丸の内2-29				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	連絡先E-mail

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	DX人材育成事業
概要	本市の希望職員に対し、DX機運醸成に向けたDX研修の講師をお願いしたい。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	555	令和7年10月10日	講演	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年10月9日	講演(実地)	9時00分	16時30分	60
				活動時間（分）	390
2-2. 派遣場所	会場名	大垣市役所8階大会議室		最寄駅	JR大垣駅
	所在地	岐阜県大垣市丸の内2-29		最寄駅からの交通手段	徒歩または名阪近鉄バス

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	池田 昌人
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	DX機運醸成に向けて、民間企業の実体験を交えた思考プロセスの講義であり、公務員には斬新な研修であった。期待値、企画書、行動、想いの4区分ごとにポイントが整理された分かり易い内容であり、時折ゲーム要素を挟むことで参加職員が飽きることなく最後まで研修を受講することができた。DXは目的ではなく、業務フロー中の課題解決や政策・企画の実現等に資する手段である事を職員に認識させる必要があると考えており、BPRやフェルミ推定、効果分析表、5W1H等、有効性・妥当性の高い手法等を学ぶことができ、非常に有益な研修となった。
アドバイザーへの要望事項	次年度も派遣申請を検討しておりますので、正式申請の際はご高配ください。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	19人
	属性	自治体職員	住民
	人数	19	0
		0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	行政業務のDX推進に向け、全所属にDX推進マネージャー、DX推進リーダーを配置するとともに、大垣市DX人材育成計画を策定し計画的な育成に努めている。しかしながら、職員自身のDX意識は高いとは言えない状況であり、抜本的なDX機運の醸成が必要である。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	DXの考え方や取り組み方等の知見・知識の習得を通じて、市役所全体のDX機運の醸成を図る。具体的には、所属のDXを具体的に推進・牽引していく「想い」を持つ職員の創出を図る。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	研修進行等事前打合せ及びDX研修の実施 ・事前打合せ：14:00～14:20 ・研修時間：9:00～16:30 (6.5hr) ・内容：DX機運醸成研修 (フェルミ推定、効果分析表、5W1H、期待値を超える企画・成果の創出等)	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	受講者へのアンケート調査の結果、全参加者から「業務に活用できる内容があった」との回答を得た。意見の中には、「仕事への向き合い方や意識の持ち方について深く学ぶことができた」、「心に響く内容が多かった」などと回答もあり、参加者の意識改革に大変有益な研修であったと考える。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 今回の研修は単にDXに留まるものではなく、全ての職員の仕事への意識改革に資するものと考えられる。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	職員のDX意識醸成には、一時的な研修だけでは効果が限定的になってしまうため、人事担当部署と協議を進め、市職員研修計画（昇格者等の基本研修）にDX関連研修を体系的に組み込み、段階的かつ継続的な学習機会の提供と実践の場の確保をし、習得した知識・スキルの確実な定着を図る。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添のとおり	
4－3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他 本アドバイザー派遣制度が、人材育成支援として非常に高い実効性を確認できたので、市職員研修計画（昇格者等の基本研修）に本制度の研修を組み込み、計画的な活用を進めることで、組織全体のDX推進と機運醸成を図りたい。
4－4. 事業の最終的な目指す姿	人口減少社会における持続可能な自治体運営に向け、DXの必要性、DX意識の改革等を目的としたDX研修の実施による職員のデジタルスキルやDX意識の向上を通じて、市民サービス及び内部業務のDXを推進し、地域住民の暮らしの質や利便性の向上を図る。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/</a>
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	
<div>なおくその他＞を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください</div>		
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。		

